

2017年A B A C第1回バンコク会議ニュースリリース【仮訳】

アジア太平洋地域のビジネスリーダーはW T O貿易円滑化協定の発効を歓迎する

バンコク

2017年2月23日

貿易フローのさらなる自由化を支援するための新たなグローバル協定は、ビジネス・コストを低減し、アジア太平洋地域における生活水準を引き上げることに貢献するだろう—A P E Cビジネス諮問委員会（A B A C : APEC Business Advisory Council）のためにバンコクに集結したビジネスリーダーたちは、昨日そのような見解を表明した。

「世界経済は厳しい時期に直面している。貿易量の拡大ペースは減速し続けている。」と2017年A B A C議長であるベトナムのホアン・ヴァン・ドゥン氏は述べた。「貿易という大きな機械にこびりついた粗砂を取り除き、市場をオープンにして競争原理を働かせ、連携を深めるために、可能な限りの措置を講じることがきわめて重要である。その意味で、この新協定を大いに歓迎する。」

ホアン氏が言及していたのは世界貿易機構（W T O）貿易円滑化協定（T F A）の発効についてである。同協定は2013年にインドネシア・バリで開催されたW T O閣僚会議においてW T O加盟国により合意され、発効にはW T Oメンバーの3分の2による批准が必要とされた。その要件がこのたびまさに達成されたのである。

「T F Aはわれわれが待ち焦がれていたものである。今、それが実行に移されることに皆が興奮している。また批准を終わっていないメンバーには、迅速に対処するよう働きかける。」

「ビジネス人として、われわれは当然、貿易を円滑化し、そのコストを削減するあらゆるものを歓迎する。消費者もまた、格安で多様な、より良い製品の恩恵を受けるであろう。だが、もっと重要なこととして、T F Aはわれわれのコミュニティにとっての機会を開放してくれる。」とホアン氏は言う。

「包括的で持続可能な成長は、A P E C地域のわれわれのビジョンの中心である。T F Aにより官僚主義、費用および貿易に関する技術的制約などが削減されることで、企業はその規模の大小を問わず、また開発途上国・地域に存在したとしても、グローバル市場によりうまく参入できるようになる。」

W T Oの分析はT F Aが大きな恩恵をもたらすことを示唆している。すなわち、T F Aを履行することで今後15年にわたり、世界輸出量は年率約2.7%のプラス影響を受け、全世界のG D

P成長率においては年率 0.5%以上の押し上げ効果があると予想されている。T F Aの完全履行は、世界貿易のコストを平均で 14.3%削減すると評価される。

「われわれがW T Oに対して行ってきた従来の支援を確認する意味においても、T F Aの発効を心から歓迎する。」とホアン氏は加えた。「W T Oは、貿易への阻害要因を取り払い、経済成長を促進し、持続可能な発展を育む最善の手段を提供することにより、世界経済の抛り所であり続ける。この協定は 2001 年に立ち上げられたドーハラウンドで当初掲げられた目標のうちの、実質的な成果のひとつである。」